

八王子ITネットワーク 4月例会メモ

日時：平成30年4月19日（木） 18：30～20：00 参加人数 14名

場所：サイバーシルクロード八王子

シビックテックと情報アクセシビリティについて

（シャムロック・レコード株式会社 青木氏）

- UD トークとは、多言語の翻訳および音声認識や音声合成を実装することで、障害者バリアフリーだけではなく言語バリアフリーになり、漢字の平仮名変換機能を使うことで世代間バリアフリーにもなるコミュニケーションアプリである。
- 具体的には自治体などで議事録の作成に活用される一方で、トークイベントやシンポジウムの際にプロジェクターで字幕投影する方法で利用されている。
- 音声精度が向上しているので、95%の確率で日本語に変換することができる。残りの変換エラーに関しては人間の手で修正を行う。
- 100%音声認識をしないと意味がないというご意見がある一方で、どのように活用すれば良くなるのか考えて活用する事が大切である。
- 実際に視覚障害の方に UD トークの感想を聞くと、字幕の前後の文章や相手の表情などで推測ができるので、利用しやすいという感想をいただいている。
- 外国人の利用者は、字幕の漢字に自動で振り仮名が付くので、理解しやすいという感想をいただいている。
- UD トークのグループ登録の後に半径5メートル以内だが、ARモードでメガネディスプレイを使用すれば、各自アイフォーンで話した内容を噴出しの形で読み取る事が出来る。
- UD トークの一般利用のユーザーは、約20万人の方が利用している。
- 多く利用者は、聴覚障害者の方より聴覚障害者の周りの方が多く利用している。
- 一般の方には UD トークを利用した音声データを蓄積して解析することにより、音声認識の精度向上に協力していただいているというスタンスの考え方の下、無料でアプリを提供している。
- 法人利用の場合は有料である。法人の場合はプライバシーや機密情報などがあるので、音声を一切収集しないという形でサービスを提供している。
（料金の詳細はHPをご参照ください）
- 現在 UD トークの契約を結んでいる自治体は、京都府・大阪府・町田市・練馬区・岐阜県加茂郡白川町などが導入をしている。

◆議場にて下記の通り意見が挙げられた。

・撮影した映像に字幕をつける場合の文字起こしはできますが、

⇒出来ます。UDトークは字幕で表示する事ができるので、音声をしっかりと拾える環境にすれば出来る。

・UDトークを自治体が導入する場合は市民側からどのようなアプローチをすればよいですか。

⇒市民側からのアプローチよりかは、市役所内部で導入をする事を決めて、市役所の議事録や議会の議事録作成の手助けとして活用した方が良い。そして徐々に窓口業務などに使用するといった流れがスムーズである。コミュニケーションアプリなので、100回利用して1回便利に思えたら良いといった考えである。

・一般利用者から収集した音声データは、どのようにして音声認識の精度向上に繋げているのか。

⇒蓄積したデータを人間が書き起こし、正しい言葉に変換させて地道にAIに覚えさせている。

・法人契約でUDトークを活用した場合に情報が漏洩しない担保はありますか。

⇒法人向けプランではUDトークから送られてきた音声認識をするためのデータは認識処理が終わった後に削除している。又メモリ上で処理されるのでデータとしては残らない。

・無料の場合は時間の制限はありますか。

⇒時間の制限はある。1回にしゃべれる時間は3分である。長時間使用する場合は、当社の「連続発話の時間制限を解除」するアドオンを月額240円で利用していただければと思う。